

(注意)□:複数選択

○:単一選択

文字列入力( )

数字入力[ ]

**凡例** 入力項目分類 (数字は入力の優先順位)

1. 毎回入力項目 : 2重括弧 (毎回入力をしていただく項目)
2. 変更のみ入力項目 : 1重括弧 (前回からのデータ変更及びデータ追加があれば入力していただく項目)
3. 1回のみ項目 : 括弧なし (1回のみ入力すればよい項目)

## 日付項目

「不明」にチェックする場合 : プロジェクト開始以前のため、カルテ等で避れない場合のみにして下さい。  
 年月のみ判明している場合 : 年月は判明している情報を、日は「不明」を入力して下さい。

追加

1回の入力でシートを追加して入力可能

前回の内容をコピー

前回調査の入力をコピーして入力可能

**(疾患) 脳動脈瘤**

## 疾患の定義

CT や MRI 等の画像診断で脳動脈瘤またはクモ膜下出血と診断されたもの

または、すでに脳動脈瘤と診断され、薬物治療等が行われている。

但し、外傷性クモ膜下出血は含まない。

日本脳卒中学会／日本脳神経外科学会／日本神経学会／日本神経治療学会／日本リハビリテーション医学会編 脳卒中合同ガイドライン委員会  
 脳卒中治療ガイドライン 2009 を参照

前回の内容をコピー

**未破裂脳動脈瘤**

○ あり                      ○ なし                      ○ 不明

※追跡時は前回調査時以降の状態を入力

※ありの場合は、未破裂脳動脈瘤シートに記入してください。

**クモ膜下出血**

○ あり                      ○ なし                      ○ 不明

※追跡時は前回調査時以降の状態を入力

※ありの場合は、クモ膜下出血シートに記入してください。

(注意)□:複数選択

○:単一選択

文字列入力( )

数字入力[ ]

## (疾患) 脳動脈瘤 : 未破裂動脈瘤

## 初回未破裂脳動脈瘤診断日

[ ]年 [ ]月 [ ]日 □ 不明

## 動脈瘤発見の契機

- くも膜下出血  
 症候性 (脳神経麻痺やその他動脈瘤に起因すると考えられる症状を呈し、その原因検索において発見)  
 無症候性 (脳ドックや他の検査の際に偶然発見された)  
 該当するものなし

## 診断の基準となった検査

- 脳血管造影  MRA  3D CTA  その他

## 動脈瘤の個数

[ ]個 □ 不明

## 動脈瘤の部位

- あり  不明
- 内頸動脈-後交通動脈分岐部  
 前交通動脈  
 中大脳動脈  
 脳底動脈先端部  
 その他 ( )

## 動脈瘤最大径

- 5mm 未満  
 5mm 以上 10mm 未満  
 10mm 以上 15mm 未満  
 15mm 以上 25mm 未満  
 25mm 以上  
 不明

前回の内容をコピー

## 治療

- 経過観察(内科的治療を含む)  
 開頭手術 手術日 [ ]年 [ ]月 [ ]日 □ 不明  
 血管内手術 手術日 [ ]年 [ ]月 [ ]日 □ 不明  
 不明  
 その他( )

(注意)□:複数選択

○:単一選択

文字列入力( )

数字入力[ ]

## (疾患) 脳動脈瘤 : クモ膜下出血

初回クモ膜下出血発症日 [ ]年 [ ]月 [ ]日 □ 不明

初回クモ膜下出血の状態 重症度(発症時)

Hunt and Hess 分類(1968)

- グレード 1 無症状か、最小限の頭痛および軽度の項部硬直をみる
- グレード 2 中等度から強度の頭痛、項部硬直をみるが、脳神経麻痺以外の神経学的失調はみられない
- グレード 3 傾眠状態、錯乱状態、または軽度の巣症状を示すもの
- グレード 4 昏迷状態で、中等度から重篤な片麻痺があり、早期除脳硬直および自律神経障害を伴うこともある
- グレード 5 深昏睡状態で除脳硬直を示し、瀕死の様相を示すもの
- 不明

合併症(発症時)

- 再出血 ○ あり ○ なし ○ 不明
- 遅発性脳血管攣縮 ○ あり ○ なし ○ 不明

診断の基準となった検査 ○ 脳血管造影 ○ MRA ○ 3D CTA ○ その他

前回の内容をコピー

- 治療 ○ 経過観察(内科的治療を含む)
- 開頭手術 手術日 [ ]年 [ ]月 [ ]日 □ 不明
- 血管内手術 手術日 [ ]年 [ ]月 [ ]日 □ 不明
- 不明
- その他( )

クモ膜下出血の状態

再発 ○ あり ○ なし ○ 不明

再発日 [ ]年 [ ]月 [ ]日 □ 不明